

## 伊藤大使のアムハラ州副知事との会合及びバハルダール市ごみ処理場の落成式参加

2021年7月14-15日、伊藤大使は、アムハラ州バハルダール市を訪問し、フェンタ・アムハラ州副知事と意見交換を行うと共に、当館、UN ハビタット、バハルダール市との共催により、同市で実施された日本が平成30年度補正予算支援案件「エチオピア都市における廃棄物管理機緊急支援：ごみ集積場のリスク軽減のための福岡方式の実施」により支援したバハルダール市のごみ処理場の落成式に参加しました。

副知事との意見交換では、今後の日本との協力の可能性、及びアムハラ州の政治・経済・治安情勢についての意見交換が行われました。

ごみ処理場の共催事業は、アディスアベバ市及びバハルダール市での福岡方式の導入による持続可能な固形廃棄物管理システムの確立を目的に、我が国より UN ハビタット事務所に4,480万円（40万米ドル）を拠出し実施されました。本案件を通じて、バハルダール市のごみ集積場の安定化が実現し、ごみの浸出水及び有毒ガスの処理により状況が著しく改善したことで、同市の10万人の人々の健康の促進につながりました。

落成式において、伊藤大使は、アディスアベバ市及びバハルダール市での成果を踏まえ、今年4月、ハワサ市への支援が開始された旨説明し、本案件の実施が日本とエチオピアの友情を深める一助になることを祈念する旨述べました。また、アイシャ都市開発建設大臣、ディレス・バハルダール市長、ムタンビ UN ハビタット・アフリカ地域事務所長より、我が国の支援に対する謝辞が述べられました。



フェンタ副知事との意見交換



バハルダール市ごみ処理場でテープカット



ムタンビ UN ハビタット・アフリカ地域事務所長のスピーチ



伊藤大使のスピーチ